

第23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

教育セッション ①



心肺運動負荷試験講習会(基礎編)

心肺運動負荷試験の パラメータの説明と実践



日時 2017年 **7月16日**(日) 9:00~10:30

会場 **第1会場**(長良川国際会議場 1階メインホール)

演者

伊東 春樹 先生	公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
大宮 一人 先生	聖マリアンナ医科大学 循環器内科
岡 岳文 先生	一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 循環器科
前田 知子 先生	公益財団法人日本心臓血圧研究振興会榊原記念クリニック 検査科
田中 和代 先生	公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院 検査科

共催 NPO 法人ジャパンハートクラブ
協賛 インターリハ株式会社／フクダ電子株式会社





教育セッション ①

心肺運動負荷試験講習会(基礎編)

心肺運動負荷試験の パラメータの説明と実践

公益財団法人日本心臓血圧研究所振興会附属榊原記念病院 顧問

伊東 春樹

聖マリアンナ医科大学 循環器内科

大宮 一人

一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 循環器科

岡 岳文

公益財団法人日本心臓血圧研究振興会 榊原記念クリニック 検査科

前田 知子

公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院 検査科

田中 和代

心臓リハビリテーションの普及に伴い、心肺運動負荷試験 (cardiopulmonary exercise testing: CPX) の導入施設は増加している。CPXは運動耐容能の評価、運動処方作成、心不全患者の予後の推定、心臓移植待機リスト登録の評価、原因不明の息切れや心筋虚血の評価等に利用されている。特に心臓リハビリテーションにおいて、嫌気性代謝閾値 (AT)のから得られる運動処方の作成が盛んに行われている。ATの他にも最高酸素摂取量、VE vs. VCO₂ slope、 $\Delta V\text{O}_2/\Delta \text{WR}$ 、 τ_{on} の他、最近ではoxygen uptake efficiency slope (OUES) やTV-RRなどの新たな指標も用いられるようになりCPXの有用性は益々高まっている。心臓リハビリテーション指導士を目指すスタッフはCPXの原理と方法、処方の実際について十分理解しておく必要があるが、職種によってはCPXに接する機会が少なく、多くの指標の解釈を苦手に行っているスタッフも少なくないと思われる。本企画は初級者を対象にしたデモンストレーションを行い、CPXの理解の助けになるよう解説する。